

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】 特開 2002-44604 (P2002-44604A)
 【公開日】 平成 14 年 2 月 8 日 (2002.2.8)
 【出願番号】 特願 2000-220293 (P2000-220293)
 【国際特許分類】

H O 4 N **5/92** **(2006.01)**
H O 4 N **5/44** **(2006.01)**
H O 4 N **5/765** **(2006.01)**
H O 4 N **5/781** **(2006.01)**
H O 4 N **7/025** **(2006.01)**
H O 4 N **7/03** **(2006.01)**
H O 4 N **7/035** **(2006.01)**
H O 4 N **7/26** **(2006.01)**

【F I】

H O 4 N 5/92 H
 H O 4 N 5/44 D
 H O 4 N 5/44 Z
 H O 4 N 5/781 5 1 0 L
 H O 4 N 5/91 L
 H O 4 N 7/08 A
 H O 4 N 7/13 Z

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 3 月 7 日 (2007.3.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像や音の第 1 情報の入力手段と、前記第 1 情報の補足情報である第 2 情報の入力手段と、前記第 1 情報の圧縮符号化率を定める圧縮符号化率設定テーブルと、前記第 2 情報に基づき前記圧縮符号化率設定テーブルを検索し、前記第 1 情報の圧縮符号化率を決定して圧縮符号化処理を制御する圧縮符号化率制御部と、入力される前記第 1 情報を前記圧縮符号化率制御部の制御により圧縮符号化処理する圧縮符号化部と、前記圧縮符号化部で圧縮された前記第 1 情報の圧縮情報を記録する記録部を有することを特徴とする情報圧縮記録装置。

【請求項 2】 前記圧縮符号化率設定テーブルは、前記第 2 情報が定める前記第 1 情報の分類と圧縮符号化率設定情報で構成され、各々の分類に基づき、前記圧縮符号化率設定テーブルを参照し、入力される前記第 1 情報を前記参照した圧縮符号化率で圧縮して記録することを特徴とする請求項 1 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 3】 前記圧縮符号化率設定テーブルの設定は、圧縮符号化率設定入力部より、前記第 2 情報が定める前記第 1 情報の分類毎に設定可能としたことを特徴とする請求項 2 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 4】 前記第 2 情報が定める前記第 1 情報の分類は、複数の映像ジャンルで分けられ、前記圧縮符号化率設定テーブルの設定が行われていることを特徴とする請求項 1 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 5】 前記圧縮符号化率設定テーブルの圧縮符号化率設定は、複数の記録レート或いは複数の解像度を任意に選択することで、圧縮符号化率が設定されることを特徴とする請求項 4 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 6】 前記第 1 情報は、動画像からなる映像であって、前記第 2 情報は、前記第 1 情報に重畳されて送信されてくる番組情報であることを特徴とする請求項 1 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 7】 請求項 4 記載の情報圧縮記録装置において、映像ジャンル別録画設定手段と、各番組毎に録画設定する手段を備え、前記映像ジャンル別録画設定手段では、前記圧縮符号化率設定テーブルを参照して圧縮符号化率を決定し、各番組毎に録画設定された場合には、各々の設定された圧縮符号化率設定値で録画することを特徴とする情報圧縮記録装置。

【請求項 8】 タイムシフト録画設定の圧縮符号化率の指定を可能とし、タイムシフト録画時には、タイムシフト録画設定で指定された圧縮符号化率で録画するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載の情報圧縮記録装置。

【請求項 9】 タイムシフト録画指定された状態で予約録画指定された番組を録画する場合には、予約録画指定された番組の圧縮符号化率を優先して録画するようにしたことを特徴とする請求項 8 記載の情報圧縮記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の情報圧縮記録装置は、画像や音の第 1 情報の入力手段と、前記第 1 情報の補足情報である第 2 情報の入力手段と、前記第 1 情報の圧縮符号化率を定める圧縮符号化率設定テーブルと、前記第 2 情報に基づき前記圧縮符号化率設定テーブルを検索し、前記第 1 情報の圧縮符号化率を決定して圧縮符号化処理を制御する圧縮符号化率制御部と、入力される前記第 1 情報を前記圧縮符号化率制御部の制御により圧縮符号化処理する圧縮符号化部と、前記圧縮符号化部で圧縮された前記第 1 情報の圧縮情報を記録する記録部に備えるようにしたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、前記圧縮符号化率設定テーブルを、前記第 2 情報が定める前記第 1 情報の分類と圧縮符号化率設定情報で構成し、各々の分類に基づき、前記圧縮符号化率設定テーブルを参照し、入力される前記第 1 情報を前記参照した圧縮符号化率で圧縮して記録するようにしたものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、第 2 情報が定める前記第 1 情報の分類は、複数の映像ジャンルで分けられ、前記圧縮符号化率設定テーブルの設定が行われているようにしたものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、前記圧縮符号化率設定テーブルの圧縮符号化率設定は、複数の記録レート或いは複数の解像度を任意に選択することで、圧縮符号化率が設定されるようにしたものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、この第1情報は、動画像からなる映像であって、第2情報は第1情報に重畳されて送信されてくる番組情報としたものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、映像ジャンル別録画設定手段と、各番組毎に録画設定する手段を備え、前記映像ジャンル別録画設定手段では、前記圧縮符号化率設定テーブルを参照して圧縮符号化率を決定し、各番組毎に録画設定された場合には、各々の設定された圧縮符号化率設定値で録画することを可能としたものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、タイムシフト録画設定の圧縮符号化率の指定を可能とし、タイムシフト録画時には、タイムシフト録画設定で指定された圧縮符号化率で録画するようにしたものである。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

さらに、前記本発明の情報圧縮記録装置において、タイムシフト録画指定された状態で予約録画指定された番組を録画する場合には、予約録画指定された番組の圧縮符号化率を優先して録画可能としたものである。